

決定!! 2020年本屋大賞



『流浪の月』

凧良 ゆう (東京創元社)



『ライオンのおやつ』 小川 糸 (ポプラ社)



『線は、僕を描く』 砥上 裕将 (講談社)



『ノースライト』 横山 秀夫 (新潮社)



『熱源』 川越 宗一 (文藝春秋)



『medium 霊媒探偵城塚翡翠』 相沢 沙呼 (講談社)



『夏物語』 川上 未映子 (文藝春秋)



『ムゲンのi』 知念 実希人 (双葉社)



『店長がバカすぎて』 早見 和真 (角川春樹事務所)



『むかしむかしあるところに、死体がありました。』 青柳 碧人 (双葉社)

全国書店員の投票で選ばれたベスト10 2018年12月~2019年11月に刊行された日本人作家の小説の中で、書店員自身が自分で読んで、いちばんお勧めしたいと思った作品です。

Supported by

NOLTY® PAGEM
ノルティ ベイジェム

手帳ブランドNOLTY / PAGEMは本屋大賞に協賛し、応援しています。